

GWには常念山系に出かけて来ました。
3日夜、糸魚川(妻の実家)泊。

4日朝1番の大系線で穂高、季節運転の小型バス(昨年より運行開始)で中房温泉(東京方面からの夜行列車接続便は盛況だったようですが、南下組は珍しいようで、地元タクシー会社管理職の運転手と小生の2人で約50分の道中)、合戦小屋を経て燕山荘(泊)。途中、前日登っていた地元高校生の集団が下山していきました。

5日快晴。燕山荘から大天井岳、途中で雷鳥の新婚カップルに出会いました。雄の背中黒っぽくなりかけていました。立山だと、この時期はまだ真っ白なのですが、フィルムの入っていないカメラのシャッターを押して時間を食いました。大天井への直登はステップが切っており、とはいえずアイゼン、ピッケルが頼もしい存在ですが、下りの南斜面から常念小屋までは夏道が出ていて無用。常念小屋(泊)。

6日 常念岳をこえて蝶、樹林帯はたっぷり雪が残っていました。蝶からの樹林帯の急な下りは、調子良く滑って木と激突するわけにもいかず、意外と時間がかかりました。上高地から安房トンネルを通して平湯に出て、高山、富山経由で帰ってきました。

現役の話に戻ります。新年度になって初めての使者が新入生トレーニング山行の計画書をもって研究室に訪ねてきました。1回生の参加者は13名。角間キャンパス内の国際交流会館に居住する学生が3人います。昔、アイルランドからの留学生と冬合宿でいっしょになったことがあります、一度に3人というのは珍しいことです。

snow-capped 10UZEN

雪上訓練 医王山

[目的] ラッセルの練習をする。冬山でのルートファインディングに合わせてコンパスの用途を知る。

[日程] 2000年2月25日(金)、26日(土) 1泊2日 非常1日

[山域] 医王山

[行程]

1日目(2/25) 金沢大学 == (車) == 見上峠 ---- 医王の里 (幕営)

2日目(2/26) 医王の里 ---- 西尾平 ---- (桔梗ヶ原経由) ---- 分岐 ---- 白兀山 (往復) ---- 医王の里 == 角間

[メンバー]

L 杉村明慶(教-人環2) 医 奥野岳志(工-土建2) 加藤菜就(工-物化2) 西脇幹雄(工-機機2) 井澤寿予(理-物2) 石原 諭(経1) sL竹内利行(工-物化4) 清水健作(理-物2) 小倉 亮(法2) 矢田部 桂(理-物2) 日野鋼貴(文-人間1) 福村岳代(教-障1) 山本資治(工-人機1)

[連絡員]

越前聡子(文-人間3) 076-264-0205

谷上 望(文-人間2) 076-232-5648

1・2年山行

[A] 1・2年山行大峰山脈Party(八経ヶ岳)

日程 2000年3月24日~26日 2泊3日 非常1

目的 1・2年生同士お互いを理解し来年度に向けて考える。

山域 八経ヶ岳

行程

1日目 金沢 ++++ 京都 ++++ 奈良 ++++ 大和高田 ++++ 吉野口 ++++ 下市口 ==== 天川川合 ---- 林道沿い

2日目 林道沿い ---- 枳尾辻 ---- 狼平 ---- 弥山小屋

3日目 弥山小屋 ---- 八経ヶ岳(往復) ---- 枳尾辻 ---- 坪内 ---- 下市口+++++ (往路を戻る)

メンバー

L 清水健作(理-物2)

加藤菜就(工-物化2) 杉村明慶(教-人環2)

西脇幹雄(工-機機2) 石原 諭(経1) 西

大輔(工-人機1) 谷村一成(工-人機1) 日野鋼

貴(文-人間1) 福村岳代(教-障1)

連絡員

矢内佑一 076-222-8908 小倉 亮 076-263-5476

[B] 北八ヶ岳 パーティ

日程 3月29日出発 2泊3日 予備2 非常1

目的

① 1・2年の親睦を深める

② 雪上での歩行、幕営生活、ルートファインディングの向上及び主体性ある行動を身につける

③ 八ヶ岳を愛でる

行程

1日目 金沢 ++++ 茅野 ==== 渋の湯 ---- 黒百合ヒュッテ(幕営)

2日目 黒百合ヒュッテ ---- 東天狗岳 ----

西天狗岳(往復) ---- 根石岳 ---- 東天狗岳 --

黒百合ヒュッテ(幕営)

3日目 黒百合ヒュッテ ---- 渋の湯

メンバー

L 小倉 亮(法2)

矢田部 桂(理-物2) 井澤寿予(理-物2) 奥野岳

志(理-物2) 山本資治(工-人機1) 吉森幸世(

文-人間1) 角田幸久(経-1) 久原宗仁(文-史1)

)

連絡員

角谷 誠(工-土建3) 090-2833-0904

清水健作(理-物2) 090-1394-1423



新入生トレーニング

2000 新入生トレーニング山行

〔主旨〕 新入生に対して、ワンダーフォーゲルという活動の理解をはかるとともに、山行のための基礎的体力を養成する。

〔日程〕 5月27日(土)、28日(日) 1泊2日

〔山域〕 医王山・県境夕霧峠

〔行程〕

1日目(5/27) 金沢大学 ---- 見上峠 ---- 医王の里(幕堂)

2日目(5/28) 医王の里 ---- 新視(ザック置き場) ---- 三蛇の滝 ---- 鳶岩 ---- 新視 ---- 白兀山 ---- 夕霧峠 ---- 白兀山 ---- 医王の里 ---- 角間

〔メンバー〕 cL 矢内佑一(工-物化3)

Aパーティー

L 谷上 望(文-人間 3) sL 西脇幹雄(工-機械3) 谷村一成(工-人機2) 河原一美(教-学校2) 日野鋼貴(文-人間 1) ローズ・ジュディ(USA) 松岡史明(法 1) 深作亮太(工-人機1)

Bパーティー

L 小倉 亮(法 3) sL 杉村明慶(教-人環3) 角田幸久(経 2) 松本なゆた(理-地球2) 山本資治(工-人機2) 竹内雅幸(法 1) 松山文枝(医-保健1) 木村昌宏(工-機械1)

Cパーティー

L 奥野岳志(工-土建3) sL 加藤菜就(工-物化3) 吉森幸世(文-人間2) 西 大輔(工-人機2) 久原宗仁(文-史2) 真村メリッサ中川拓哉(理-化1) 渡 洋子(医-保健1)

Dパーティー

L 矢田部 桂(理-物3) sL 清水健作(理-物3) CsL 阿納真弓(文-人間3) 福村岳代(教-障害2) 石原 諭(経2) アリソン・ウオッツ(Australia) 石山晶代(教-養別科) 森本達也(工-機械1) 中道卓郎(法1)

〔連絡員〕 越前聡子(文-人間 4) 076-264-0205 井澤寿予(理-物3) 076-235-2767

顧問のひとり言 前田 達男

Summer Camp Training

先週末は、福井県大野市と鳩が湯温泉、刈込池に出かけてきました。教職員組合法文分会のレクリエーション行事です。刈込池には残雪の三の峰が映り、イモリの卵が水の中にいっぱいありました。昔、赤兎山から下山してきたときは、そのまま勝原まで歩きました。岩魚をかじりながら温泉につかってのんびり一泊、という夢がやっと叶ったということです。狭い山道でバスの運転手は慎重運転そのものでした。

夏合宿の計画書が2通出てきました。この夏は4パーティが (1)北海道 (2)南アルプス北上 (3)北アルプス(蝶 - 槍 - 笠) (4)北アルプス(燕 - 槍 - 裏銀 - 針の木)に出かけるということです。前期試験と集中講義を済ませての夏休み入りですので、8月に少し入っての出発となることでしょう。

主将挨拶

第43期主将 小倉 亮

私自身は2年前からしか金大ワングルを知らないが、諸先輩方の話や過去の記録を見るに年々ワングルも変わってきているようである。もちろん夏合宿をはじめとしてトレ山などはしっかりとこなしており何も心配することは無いのだが、やはり全体的に易しくなってきているようである。そんな中、今年も一回生、男5人女4人が入部した。人数こそ少ないが荷歩トレや強雨の中の新トレ(正直私は何人か辞めるといった)を経験しても、次の山行にむかい、やる気十分の彼らには心強さを感じる。今年は夏合宿でも10泊を超える計画のパーティーがあるなど、又少しずつワングルが変わり始めている。部活の為に人がいるのではなく、人の為に部活があるのだからワングルがその時のニーズに応じて変化していくのは当然だと思う。かといって全く好き勝手にやるのではなく、今まで築き上げられてきた金大ワングルの伝統を土台に、2000年の金大ワングルの理想形を創る、ということに主将として、又一部員として、その一端を担えるよう努力していきたいと思います。

2000年 北アルプスParty 第1回 トレーニング山行

[目的] 体力アップ

[日程] 6月24日(土), 25日(日) 1泊2日 非常1

[山域] 人形山

[行程] 1日目(6/24) 金沢大学 == (車) == 上梨 ---- 中根山荘上部駐車場 (幕営)

2日目(5/28) 幕営場 ---- 宮屋敷 ---- 人形山 ---- 宮屋敷 --- 中根山荘
上部駐車場 ---- 上梨 == (車) == 金沢

[メンバー] L 阿納真弓(文-人間3) sL 小倉 亮(法 3) 深山裕貴(教-人環3)
山本資治(工-人機2) 日野鋼貴(文-人間 2) 福村岳代(教-障害2)
森本達也(工-機械1) 松山文枝(医-保健1)

[連絡員]

谷上 望(文-人間 3) 076-232-5648 090-9444-4969

井澤寿予(理-物3) 076-235-2767 090-2839-2461

北海道PARTY 第1回 トレーニング山行

[目的地] 富士写ヶ岳

[目的] 林さんのカラ元気を出せるようにすること。2回生は本番スイカをたくさん持っていく予定なので限界に挑戦してもらいたい。1回生はとりあえずしっかりはしってね。

[日程] 2000年6月24日(土)~6月25日(日) 1泊2日 非常1

[行程] 1日目 金沢大学 == (車) == 我谷ダム ---- 富士写ヶ岳登山口(枯淵口)(幕営)

2日目 登山口 ---- 前山 ---- 富士写ヶ岳 ---- 展望台 --- 我谷ダム == (車) == 金沢大学

[メンバー] L 奥野岳志(工-土建3) sL 清水健作(理-物3) 医療 河原一美(教-学校2) 西 大輔(工-人機2) 谷村一成(工-人機2) 日向 (医-保健1)
渡 洋子(医-保健1)

[連絡員]

谷上望(文-人間 3) 090-9444-4969 井澤寿予(理-物3) 076-235-2767 090-2839-2461

2000年度夏合宿 北アルプス裏も表も加藤Party

第1回 トレーニング山行

[日程] 6月17~18日 1泊2日 非常1

[山域] 倉ヶ岳、獅子吼高原(後高山)、奥獅子吼山

[目的] 1回生:山行における基礎的技術を向上させ、係の仕事をも身につける。

2回生:1回生への技術的指導、精神的援助を行なう。

3回生:L、sLの経験を積み、全体を把握した適切な判断を下す。

全体:男25kg、女18kgの歩荷で、技術・体力を養う。

[行程] <1日目>金沢 == (車) == 月橋 ---- 大池広場 ---- 倉ヶ岳 ---- 大池広場 -
---- 風吹峠 ---- 獅子吼高原 (幕営)

<2日目> 幕営地 ---- 月惜峠 ---- 奥獅子吼山 ---- ケカン谷の頭 ---- 不動滝
---- 板尾 == (車) == 金沢

[メンバー] L 谷上 望(文-人間 3) sL 加藤菜就(工-物化3) 医療 久原宗仁(文-史2)
 石山晶代(教-養別科) 深作亮太(工-人機1) 真村メリッサ
 [連絡員] 井澤寿予(理-物3) 076-235-2767 090-2839-2461
 阿納真弓(文-人間3) 076-232-6301 090-1396-3967

2000年度南アルプス茶無羅為(さむらい)Party

第1回トレーニング山行

[日程] 6月17~18日 1泊2日 非常1

[山域] 倉ヶ岳、奥獅子吼高原

[目的] 体力づくり、ルートファインディングの初歩

[行程] <1日目>金沢 == (車) == 月橋 ---- 大池広場 --- 倉ヶ岳 ---- 大池広場 --
 -- 風吹峠 ---- 獅子吼高原 (幕営)

<2日目> 幕営地 ---- 月惜峠 ---- 奥獅子吼山 ---- ケカン谷の頭 ---- 不動滝
 ---- 板尾 == (車) == 金沢

[メンバー] L 杉村明慶(教-人環3) sL 矢田部 桂(理-物3) 角田幸久(経2)
 石原 諭(経2) 中川拓哉(理-化1) 竹内雅幸(法 1)

[連絡員] 森田善文 076-235-4807 伊藤純司 076-263-8353

中 〇 桑 戸 戸

〇〇〇年(平成12年)6月15日(木曜日)

噴泉塔へのアクセス
 道路2年半ぶり開通
 あす岩間一里野線
 県鶴来土木事務所は十六
 日正午、国天然記念物「岩
 間の噴泉塔」で知られる岩
 間温泉へのアクセス道路と
 なる尾口村の県道岩間一
 里野線五・五区間の通行
 止めを解除する。
 同県道は、冬季通行止め
 が解除される予定だった平
 成十年四月十五日に、区間
 内で大規模なけ崩れが見
 つかり、復旧工事のため通

行止めに。昨年開通が予定
 されていたが、新たな崩落
 が発生したことから、平成
 九年秋から実質的に二年半
 ほども通行止めが続いてい
 た。
 岩間の噴泉塔群は、県道
 の終点となる新岩間温泉か
 らさらに奥へ徒歩で約一時
 間四十分。一年を通して温
 泉が勢いよく噴き出す様子
 が見られる名所として知ら
 れる。



「夏は涼線地帯、秋は紅葉狩りで人気のある白山ス
 ーパール林道(尾口村尾漆-岐阜県白川村鳩ヶ谷間33
 ・3キロ)が、10日から全線開通」写真。残雪が多か
 ったため、昨年より5日遅れだった。初日は石川県
 側から302台、岐阜県から190台、計492台
 が利用したものの、前年初日の611台を下回っ
 た。今シーズンは昨年の10万2000台を上回る11
 万台が目標。この道路は昭和52年8月、両県にまた
 がる未開発森林資源の開発を目的に開通された。
 それなのに落差80メートルのふくべの大滝、細流がまる

残雪の山肌が涼味誘う 白山スーパール林道

で老女が白髪を振り乱したように見える姥(うば)
 が滝をはじめ、白山頂上の展望、ブナ原生林、蛇谷
 峡谷、胃腸の霊泉と呼ばれている中宮温泉、間近に
 見られる野猿など観光資源が豊富なので、「山岳観
 光ルート」としての名声が世間に知れ渡っている。

通行期間は11月20日までだが、降雪が早まればそれ
 以前でも閉鎖される。通行時間は8月末までが午前
 7時~午後6時、9月以降が午前8時~午後5時。
 通行料金は普通車なら片道3150円、往復4890
 円。白山林道石川管理事務所 076-619

(6) 7341

猿問題に手を焼く中、さらに...

イノシシ被害も警戒

白山麓鳥獣害防止対策協

目撃情報集め対策検討

石川県内の山間部で昨年からイノシシが相次いで確認され、鶴来町など一町五村でつくる白山麓鳥獣害防止対策協議会は三日までに、目撃情報の収集に乗り出した。隣の福井県では三年前からイノシシが出没し、水田や畑で猿の被害が相次ぐ大きな被害が出ている。暖冬続きでイノシシの北上が進むとされる中、同協議会は福井と同様の現象が近く白山ろくで起きる可能性が大きいとし、山里に下りてくる猿に手を焼くながら、イノシシ対策も検討する。

福井では
畑壊滅も 暖冬で
北上の恐れ

県白山自然保護センター「昨年から加賀地区で頻繁にイノシシは「見られるようになった。イノシシは本来、暖かい場所を好むが、今年一、三月には雪の残る吉野谷村のブナ



雪が残る吉野谷村のブナオ山で確認された二頭のイノシシ。暖冬の影響で石川県内に北上し、個体数が増えているとみられる(3月17日(ブナオ山観察会提供))

オ山斜面で相次いで確認され、小松市や山中町、辰口町、金沢市内でも目撃された。県内での増加を裏付けるように、狩猟数は平成九年度の五十六頭に対し、十年度は百四十七頭、十一年度はさらに上回る見通しとなっている。

県白山自然保護センターは、本来は冬期間に淘汰されるイノシシの子どもが暖冬のため死ななくなっているとし、「このままの気象条件なら県内でも福井のような被害が出る」と指摘する。現時点で被害は確認されていないものの、白山麓

鳥獣害防止対策協議会は目撃情報を集め、被害があり次第、対策を講じることにした。

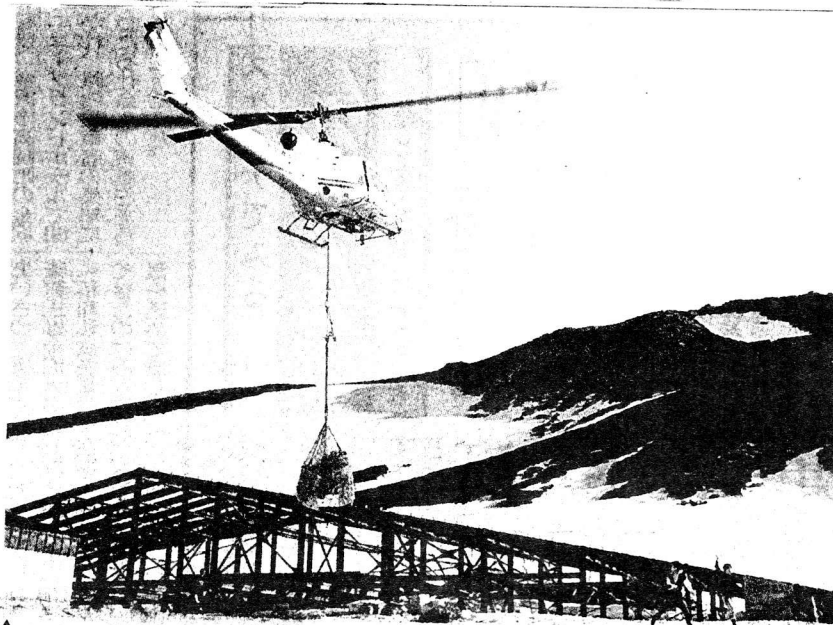
福井県南振興局によると、嶺南地区では十年前から三ホンザルが畑を荒らすようになり、対策を講じたが、イノシシ被害が確認されてから対象はイノシシに移った。イノシシは水田の中に入って体を濡らす「泥打ち」を繰り返すほか、畑では土を掘り起こしたり芋などの作物を食い荒らし、「被害の大きさは猿の比ではなく、水田も畑も壊滅的な状態」(同振興局)という。

小浜市では昨年、約三千五百十ヘクタールが被害に遭い、農地の周囲に電気柵を張り巡らす対策を取っている。農家は設置費の半額を負担し、漏電防止の草刈りなども余儀なくされている。

白山ろくでは猿の被害が深刻な一方、防止策の効果は上がっていない。鳥獣害防止対策協議会は新たな難題を抱える形となったが、「猿以上の被害が出るとなれば放置しておけない」と警戒感を強めている。

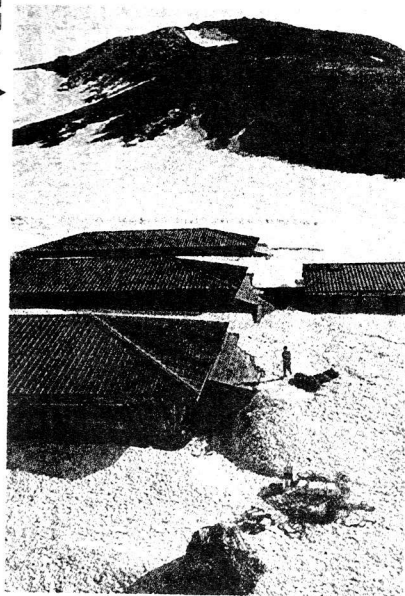
白山の夏 準備着々

ヘリで物資空輸



①建設中の室堂センターの前に夏山開きの物資を空輸するヘリコプター②例年より多い残雪に屋根まですっぽりと埋まる室堂センター(後方は御前峰)

七月一日の夏山開きに備え、白山(二、七〇二㍎)へのヘリコプターによる物資空輸が五日行われた。白山観光協会(鶴来町)が、夏山期間中に常駐職員や登山客らに必要な燃料や米、冷凍食品などを運ぶため毎年実施。同県白峰村市ノ瀬の臨時ヘリポートから、室堂センター(二、四五〇㍎)や南竜山荘(約二、一〇〇㍎)間を、ネットで包んだ物資をつり下げながらヘリが往復。計約二十トを運んだ。同センターでは、今年室堂を「引退」した木下道雄



アルバイト学生らに指示を送る中出さん＝白山室堂センター付近で

主任(六)の後任として管理を預かる中出隆幸副主任(四)とアルバイト学生約十人が、運び込まれる物資を手際よく倉庫へ収納した。室堂付近の残雪は、三十五日ほどと昨年よりはるかに多く、建物は上部だけが顔を出した状態。センターは建て替え工事中で宿泊はできないが食事提供はなし。同協会では、登山者へ自炊の用意を呼び掛けている。

室堂の新番人・中出さん

山に慣れ気合新た

三十一一年間にわたり室堂物資空輸では、次から次にセンターに常駐した木下道雄(六)主任の後任として、今年大きなバトンタッチを受けた中出隆幸室堂副主任(四)＝鶴来町＝は、五月の春山開きから室堂で業務を開始し一カ月あまり。同協会事務局(鶴来町)の木下さんから無縁でアドバイスを受けながら、「独り立ち」へ向け作業が続く。五日、ヘリコプターでの

平成12年(2000年)6月29日

夏目前 白山残雪多く

二十九日の石川県内は、高気圧に覆われて青空が広がり、午前九時の気温は金沢三・三度(平年二二・一度)、輪島二二・二度(同二二・一度)と蒸し暑さを感じさせる梅雨の中休みとなった。七月一日に夏山開きを迎える白山は濃い霧に包まれ、同時刻の気温が八・〇度と別世界。同日の開山祭に臨む白山比咩神社の神職ら関係者約六十人が残雪を踏みしめながら白山では現在、来年度の完成を目指して室堂ビシターセンターの建設工事が進められており、今夏は登山者への食事の提供はできない。このため、

1日に山開き

室堂を目指した。

白山観光協会による

と、今年の白山は四月入

りしてから雪が降り、

夏は登山者への食事の提

供はできない。このため、

時雨の見込み。

例年より残雪が多い白山の南竜山荘付近

29日午前10時、北國新聞社へリ「あすなろ」から

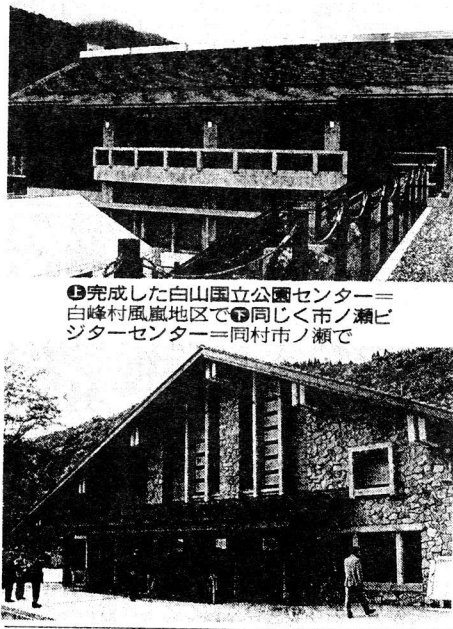


ダイヤモンド事業の2施設

白峰に同時完成

七月一日の白山夏山開きを前に、白山国立公園の情勢整備事業(平成七年度)の一環。同計画は、白峰村風嵐地区から白山山頂部にかけての総合「センター」の完成式が二十八日、白峰村内それぞれを予定している。完成を祝った。

白山国立公園センター二施設ともに、県などが、同村風嵐地区に県が約三億円をかけ完成。鉄筋コンクリート造り二階建て、客への情報提供が目的で、床面積約四百九十四平方メートル、市ノ瀬周辺情報をはじめ登山で、情報・談話コーナー、客同士で情報を交換できるレクチャーコーナーなどがあり、国立公園の玄関口として一年間を通し情報提供を行う。隣接地に建設者が「白山砂防科学館」を、同村が「ふるさと交流センター」建設を進めており、平成十三年六月までに白



①完成した白山国立公園センター＝白峰村風嵐地区で②同じく市ノ瀬ビシターセンター＝同村市ノ瀬で

北 陸 中
2000年(平成12年)6月29日

三億円をかけ完成。鉄筋コンクリート造り二階建て、客への情報提供が目的で、床面積約四百九十四平方メートル、市ノ瀬周辺情報をはじめ登山で、情報・談話コーナー、客同士で情報を交換できるレクチャーコーナーなどがあり、国立公園の玄関口として一年間を通し情報提供を行う。隣接地に建設者が「白山砂防科学館」を、同村が「ふるさと交流センター」建設を進めており、平成十三年六月までに白

軍都明暗

金沢学序説

▷51

●歴史が示す21世紀の指針●

昨年七月、国旗国歌法案に関する衆院内閣委の地方公聴会が金沢市で開かれたとき、元連合石川会長の荒島勝夫氏は「拙速は避けるべきだが、国旗国歌の法制化には必ずしも反対でな

おいて忍びない。戦後五十五年のいま、往年の郷土部隊を回想するとき、この種の複雑微妙な思いを抱く人は荒島氏ばかりではあるまい。

明治初期に戻ると、河合辰太郎は「金沢論」で旧藩時代の金沢には「士卒一万七千人」がいたとしている。江戸に次いで全国第二位の武士人口であり、家族も含めた消費は膨大だった。武具の需要が職人を育てる

九師団来たり 人口と活力回復

い」と述べた。長年の労働運動家としては、大胆発言の荒島氏は少々はにかみながら、こうも語った。「私には日露戦争で勲章をもった先祖もいる」

複雑微妙な思い

その先祖をしのぶ「荒嶋軍曹武勲之碑」は今も郷里の金沢市

旗手も戦死したとき、荒島は重傷に屈せず軍旗を抱いて帰り、連隊の名譽を守った。この殊勲で第三軍司令官乃木希典の感状と功六級金鵄勲章を授与され、軍曹に特進したのである。

戦争や軍隊を懐かしむ気にはなれないが、さりとて多くの将兵の死闘を忘れ去ることも情に

といった副産物もあった。

が、維新後、金沢は名古屋鎮台の分官とされ、兵力も歩兵一個連隊のみ。官僚を兼ねた旧藩の武士と単純比較はできないが、めっきり貧弱な陣容になったことは否めない。

しかし、北方の巨人ロシアとの緊張は金沢に再び「軍都」の



明治以来の戦没将兵が眠る金沢市野田山の旧陸軍墓地。長い年月の風雪によって土盛りが削られ、倒れそうな墓碑も見られる

地位を与えた。明治三十年代初頭に九師団が置かれると、兵力は飛躍的に増えた。師団司令部、第六旅団司令部のほか、騎兵、砲兵、工兵、輜重兵の各部隊も新設されたのである。

金沢市も協力を惜しまず、兵営用地の予算が不足したときは進んで募金を実施した。師団の設置は「国家の長計たるのみならず、我が地方の利益を増進する」(募金趣意書)という目算があったからだ。旧藩主前田家

も演習場を購入して寄付した。三十一年、金沢―小松間に開通した鉄道は九師団の輸送手段という意味も持っていた。

鉄道開通と繊維・機械産業の発展と並んで、九師団の設置は維新後減り続けた金沢の人口が底を打ち、旧藩時代の水準に回復するきっかけとなった。第二次大戦まで金沢の人口の約一割は軍関係者が占め、その経済効果は計り知れなかった。

ただし、軍都の繁栄は多くの

忘れ得ぬ亡き人々

現在の金沢には陸上自衛隊の第十四普通科連隊などがあるだけに、その規模は明治初期より小さく、軍都の面影はない。がこの町がかつて師団設置を機に浮上した歴史、そして今日の平和のいしよえとなつた亡き人々を、ゆめゆめ忘れてはなるまい。

犠牲を伴った。日露戦争で九師団は旅順や奉天(現瀋陽)の激戦に投入され、石川の戦死率は高知、岐阜に次いで全国三位に達した。殊勲の荒島栄次郎も、戦傷がもとで戦後間もなく世を去っている。

その後もシベリア出兵、満洲事変、上海事変、日中戦争と、歴戦の九師団は流血を強いられた。太平洋戦争末期、沖縄を占領していた九師団が、米軍上陸を目前に台湾移動を命じられなかったとすれば、全滅の悲劇を演じたであろう。

北の都

金沢学序説

歴史が示す21世紀の指針。

▷52

「軍都」と「学都」―戦前の金沢に共存した二つの伝統を考

えているうちに、その双方と縁の深い人物を思い出した。作家の井上靖である。

井上の父筆雄は伊豆湯ヶ島の

市民に愛されて

ここからは「井上さん」と呼ぼう。亡くなる直前の平成二年十月、東京・世田谷の自宅を訪

四高の衣鉢は継がれているか

出身だが、金沢医専(現金大医学部)を卒業した軍医であった。父が陸軍金沢衛戍病院長となつたに伴い金沢に移った井上は昭和二年、第四高等学校に入り柔道と詩作に熱中した。

ねたとき、既に病み衰えていた井上さんだが、四高の話になると背筋が伸び、目が輝いた。金沢・広坂の文房具商で店を四高生のため場にしていた「宮地のオッサン」の話や、商売そっちのけで井上さんら四高柔道部と全国を回った熱狂的フ

四高が名古屋や新潟ではなく金沢に設置されたのは、やはり学問の伝統が大きかった。藩政末期からの諸学校を統合して地方ではまれにみる水準の石川県専門学校が既に存在したのだ。「金沢論」の河合辰太郎や実業政治家中橋徳五郎らはその卒業生であり、四高に移るころには

「土地の人たちに愛されたという点で、四高の右に出る学校は全国になかったでしょう」井上さんの言葉に誇張はあるまい。四高の誕生は明治二十年。当時、一高(東京)二高(仙台)三高(京都)五高(熊本)と並んで全国五つの官立高等学校の一つだった。維新後、意気消沈していた金沢市民にとって、四高は希望の灯であり、生徒は掌中の玉と思えただろう。

哲学者西田幾多郎、宗教学者鈴木大拙、国文学者藤岡作太郎、作家徳田秋声、ジャーナリスト桐生悠々、天文学者木村栄なども学んでいた。

生徒の大部分が県内出身者の専門学校を西田幾多郎は「全体が一族というような温かみのある学校であった」と回想した。これを基礎に、旧藩主前田家や市民が多額の地元負担金を払って四高が出来たのである。

ただ、西田は四高当初の校風に反発して中退してしまう。開



旧制四高本館(現石川近代文学館)を背に立つ四高生の像。明治(中)大正(左)昭和(右)の三時代を表わす。金沢市広坂

った。そして戦後の学制改革で昭和二十五年、四高は六十三年間の歴史を閉じた。この間、寮歌に「北の都」とうたわれた金沢で青春を過ごし、世に出た人材は二万二千余に達した。

四高の衣鉢を継ぐべき新制金大にも地元の期待は熱かった。設置費用には県費、寄付金のほか「つくれ我々の大学」を合言葉にした大学宝庫の収益も当てられた。国立ながら金大は市民の汗の結晶だったのである。

それから半世紀、金沢は多くの大学を擁するようになった。その中で郊外角間に移転した金大の設備は見違えるように充実したが、研究教育の情熱や市民とのきずなのある面では四高時代や金大草創期と比べてどうか。独立行政法人化に向けた国立大学再編が進む今日、新潟などとも日本海側の拠点大学の地位をうかがう。金大に自らの殻を破る努力と地域に寄与する気概が求められるゆえである。